



山口 宗一 議員

Souichi Yamaguchi

どう変わる「新学習指導要領」で

**質問** 10年に一度改定する「学習指導要領」は小学校では平成23年度から、中学校では平成24年度から「新学習指導要領」に変わる事が決まっています。ところで、現在と比較してどのように変わるのか。  
**教育長** 主要教材に絞って授業時間を増やすことが特徴。現在、移行措置で、算数・数学・理科を前倒しで授業している。平成14年から始まったゆとり教育を改正することも考えられる。

**質問** 理科では実験や観察の時間が増えることで一人の先生で対応出来るか疑問と考える。補助教員が必要ではないか。  
**教育長** 教育委員会として、は、その必要性を吟味して、配置の是非を決めたい。  
**質問** 外国語活動では、英語とのよい出会いを実現すること、英語の音声やリズムに慣れ親しむ指導が出来るかが学習を行うことで重要と考える。そのことから指導者の役割は非常に大事と思うが。  
**教育長** 学級担任が中心になるが、英語の補助教員、または中学校に配置している外国語指導助手の活用も考えている。



▲練習中の榛東中学校野球部

平成22年度全国学力・学習状況調査  
抽出・希望利用回答状況(平成22年2月末現在)

公立学校	全対象学校数	抽出学校数	抽出率	*希望する学校数	抽出+希望学校数	抽出+希望の割合
全国	31,580	9,751	30.9%	13,794	23,545	74.6%
群馬県	528	144	27.3%	61	205	38.8%
吉岡町	3	不明	—	3	3	100.0%
榛東村	3	不明	—	0	0	0%

\*「希望」は抽出に漏れた場合テスト問題の配付を希望すればテストに参加出来る。しかし、採点や集計は独自に行う仕組み。  
○吉岡町・榛東村の場合は現時点(3月8日)で抽出不明の為希望する学校数で割合を算出した。  
○尚、47都道府県で抽出+希望利用の割合が100%の県が11県あった。ちなみに群馬県は47都道府県中45番目であった。

いじめはあるか榛東村小・中学校で

**質問** 榛東村の小中学校にいじめはあるか。  
**教育長** 今のところ、いじめはほとんどないと思う。

楽しさを決める中学校での部活動

**質問** 多くの生徒が中学校で始めて体験する部活動は彼らの大きな興味・関心になっている。ある生徒は「部活動の楽しさが中学校生活の楽しさを決める」とまで、言っている。ところで榛東中の場合本人が希望した部へ必ず入部出来るか。  
**教育長** 自分の希望しない部に強制的に入部させたり、逆に入部したいのに入れないことはない。ただし、小学校時代の活躍や実績があった場合、顧問から勧誘はあると思う。その場合でも本人の意思により調整している。

北小学校は見送り、耐震補強工事

**質問** 榛東村北小学校の耐震補強工事はいつから始まるのか。  
**教育委員会事務局長** 新年度予算のなかで補強工事を予定していたが、ほとんど補強の必要がないだろうと言うことで見送ることにした。

榛東村の小中校は抽出されたか、全国学力学習状況調査

**質問** 民主党の公約で高等学校の無償化の費用を捻出する。国に予備費が補正での対応で対象となることは考えられる。

**質問** 全国学力テストが平成22年度から全校対象から抽出方式になりこの4月20日に行われることが決まっている。ところで、榛東村の学校は抽出されたか。  
**教育長** 4月20日の学力テストが行われるまで発表出来ない。  
**質問** 例えば、北小が抽出され南小が抽出から漏れた時の対応は。  
**教育長** 例えば、片方が抽出された場合は、同じような環境の中で、同じような判断ができると思う。

一般質問

**質問** 前定例会で高齢者に  
対して肺炎球菌ワクチンの  
助成を要望したが、高齢者  
と合わせて肺炎球菌による  
重篤疾患に罹患する危険が  
高い方なども含めて、補助  
の対象として考えてもらえ

肺炎球菌ワクチンを

ないか。

**村長** 実施する方向で考え  
させてもらう。



子ども手当の支給は

**質問** 国が新年度の子ども  
手当の財源の一部を地方負  
担させることを決めたのに  
対し、全額国庫負担を改め  
て国に求めると共に、地方  
負担分を新年度予算案に計  
上しないという新聞報道が  
された。村民より本村では  
支給予定額の1万3,000  
0円を「もらえないのでは  
ないか」等と心配をしてい  
る方もいるが、住民に影響  
は。

**村長** マニフェスト通り国  
費という考えのもと、歳入  
は全額国費で見込んでい  
る。しかし、歳出も同額が  
支出できる予算編成のた  
め、支給されないことは一  
切ない。



南 千晴 議員

Chiharu Minami

任意予防接種のワクチン助成を  
女性に子宮頸がん予防ワクチンを

**質問** 日本では年間約1万  
5,000人が子宮頸がん  
を発症し、約3,000人  
が亡くなると推計されてお  
り、20代〜30代の女性のガ  
ンとして近年増加傾向にあ  
ると云われている。この子  
宮頸がんはワクチンによる  
予防手段があり、昨年10  
月に厚生労働省が承認し、  
12月よりワクチンの発売が  
開始された。全額自己負担  
で高額であることから、村

**村長** 来年度の予算におい  
て中学1年生を対象に全額  
村負担で行う考えでいる。

**質問** 対象年齢の拡大の検  
討やワクチンを含め女性の  
成長と健康についてもきち  
んと理解できるように配慮  
も必要ではないか。

**村長** 今後についても検討  
していきたい。



▲検診の合間に

子どもたちを守るため  
ワクチンに公費負担を

**質問** 乳幼児に多い細菌性  
髄膜炎は死にいたることも  
あり、生存しても様々な後  
遺症を残す可能性がある怖  
い病気である。ヒブワクチ  
ンと小児用の肺炎球菌ワク  
チンによる予防が極めて有  
効であると考えられている

**村長** 国や県にも働きか  
け、本村としても検討する  
ことが必要だと考える。

**質問** また、任意接種ワク  
チンについて中立  
で正確な情報を村  
民へ提供する必要  
もあるのではない  
か。

**村長** 詳しい内容  
を広報やホームペ  
ージに掲載し周知  
を図りたい。



▲検診風景

ポイ捨て、犬のフン放置対策の強化を

**質問** 犬のフン放置に関し  
て「困っている」という声  
をお聞きする。クリーン作  
戦や「環境衛生宣言の村」  
として、条例を制  
定するなど新たな  
対策強化の考えは  
ないか。

**村長** 狂犬病の予  
防接種時に使い捨  
てスコップを配布

している。今後もマナーア  
ップ向上のための対策を  
色々な方の協力をいただき  
ながら考えていきたい。



▲愛犬は主人のモラルをまっける





阿久澤 成實 議員

Narumi Akuzawa

### 予算特別委員会要望

**質問** 22年度当初予算編成にあたり村民福祉向上のために、住民要望や予算特別委員会で決めた事項をどんな考えのもとに予算編成に当たったか。

**村長** 22年度で予算化出来るもの、今は出来ないが必要なもの、どうしても出来ないもの等検討し委員会要望は真摯に受け止めた。

**質問** 地区体育館の騒音解決に遮音壁でなく冷房施設と云う事で予算計上されていたが、削除した理由は。 **教育委員会事務局長** 新年度予算措置をしたが、地権者の方から景観や日陰の問題が発生するので、防衛協議に時間がかかって冷房施設で対応をと云う事で新

年度予算から削除した。

**質問** 現防犯灯から、省エネ対策、長寿命であるLEDに順次替える考えは。 **副村長** LEDについては技術の普及や地域の状況を考えてながら対応していく。



▲産業振興

### 自主財源確保は

**質問** 自立を目指す村にとって地域活性化や自主財源確保は大事な要望で施策の進め方や、予算付けについてお聞きする。企業誘致を推進するため、進出企業の減免処置をどう考えるか。

**副村長** 村の企業誘致促進条例で優遇措置はあるが、地理的条件からして「ソフト・ハード」面の施策を進めていかなければと考えている。

**質問** 新庁舎内に総合的な物産展示場の設置を。 **村長** 新庁舎展示場が有効活用出来る様指示している。

**質問** 地域資源を使った特別開発事業費補助の創設を。 **村長** 村で施設を造ることは出来ないが、手助け出来る物については商工会と検討している。

**質問** 創造の森、ふるさと公園を主体とした活性化事業の推進や、県主催のDC（観光宣伝）出店費補助について。

**村長** 観光への取り組みとしてイベント開催や、下仁田ネギ販売促進、観光宣言費は予算計上されている。

**質問** 農業委員会研修費や農地法改正テキストの配布、今回新井地区に大型店が進出計画をしている、今大事な事は農家、企業が安心して賃貸し農地のトラブルを未然に防ぐための先進地視察が必要と考えるか。

**村長** 当初予算において普通旅費で増額また配布済み。

**質問** 採択された陳情・請願の速やかな実施を。 **村長** 近々高浜バイパスが運行開始になる、アクセス道を中心とした事業実施を優先したい。採択された中でも必要か検討は早める。

**質問** 滞納額を減らす特段の努力を。 **村長** 新規事業予算処置がされている。



▲産業振興

### 自助努力は

**質問** 民主党政権に移り地方に大事なことは、地域主権改革だ。地域の事は地域で決め執行・議会が住民福祉の為に何をしなければならぬ。真剣に取り組まなければならぬ。今までのひも付き交付金や補助金が廃止され一括交付金として配分さ

れる。使い道が自由になる反面村の責任は重大だ。思い切った無駄をなくし産業育成による自主財源確保に移行しなければと思う。互いに知恵や考え方を話し合い議論すべきと思うが。 **村長** 次の質問者のとき

## 一般質問

**質問** ポンプ・モーターが  
一対のものが順調に動いて  
いるか、メンテナンス、通  
常点検はどのように。  
**村長** 不純物とかそういう

**質問** 温泉の維持管理につ  
いて、現状1,000m掘  
り、どの位まで水位(温泉)  
があるか、1分間当たり量  
がどの位か、温度は、成分  
について。  
**基地・財政課長** ポンプの  
位置は、350mその上に  
50cmに水位センサー、さ  
らに314mで復帰を行う  
ときのセンサーで、3段階  
に分けて設置している。温  
度は37.4度、量は毎分  
55ℓ、443mから上げ、  
成分は弱アルカリ性の低張  
性温泉である。

もので出なくなった経緯が  
あり、約20m離して掘削  
し450mで一定の水量が  
出ることが前の統計で分か  
っています。不純物の問題、  
水量、温度等の関係から  
1,000mで止め450  
mで汲み上げている。(実  
験的には毎分150ℓから  
200ℓ出ますが、温泉審  
議会指導により毎分50ℓ  
に制限されている。)維持  
管理等においては、村もや  
っているが内容については、ボーリングした業者に  
依頼している。

## 待ちにまつた温泉再開



阿部 一雄 議員

Kazuo Abe

## 財源の確保は

**質問** 交付金について、新  
政権になり新年度より、特  
定のは除いて、財源の  
確保は助成金・補助金が少  
なくなり、財源である交付  
金を一括で収入として入っ  
てくるが、重点項目をどこ  
におくか。

**村長** 政府でも一貫した内  
容が具体的に出てない、現  
行の地方交付税、各種補助  
金の額を下回らないこと、  
村とすれば一番大事なこと  
です。導入された場合の

財政運営を重点項目などは  
検討していく。

**質問** 村の事業の予算づけ  
の考えは。

**村長** 税源移譲と交付金の  
将来のあり方を含めた方向  
性を国が示すべきであり関  
係六団体の意見交換の場合  
法律的に権限をもたせるか  
国が先にやるべきです。今  
後は政府の見方を監視、い  
ろいろな事をやらなければ  
ここで私は申し上げること  
は難しいと考えている。



▲温泉オープン



▲温泉大広間



▲榛東村観光ガイドマップ





小野関 武利 議員

Taketoshi Onozeki

### 南小学校の教育環境の整備について

**質問** 南小は児童数が増加し、体育館は面積基準を満たしているか。耐震強度や老朽化の問題はないか。

**教育委員会事務局長** 南小の体育館は昭和54年に完成し、体育館面積は21年度の19クラス、493人で見ると1,215㎡必要の所、525㎡不足、耐震性能は比較的高いが補強の必要がある。

**質問** 体育館の利用状況で入学・卒業式や全校集会、体育の授業等に支障は。 **教育委員会事務局長** 入学式は五・六年生と新入生の参加で、保護者と来賓確保が難しい。全校集会では全クラスが一クラスごと縦一列になると、横に並び

れず、体育集会では体操の隊形に開けない状況。

**質問** プール施設は児童数の増加で支障は、低学年用は変則的な三角形だが。また、老朽化の問題は。

**教育委員会事務局長** プールは狭いため支障がある。また更衣室も狭く、シャワー・目の洗浄など数が足らず、時間が掛かっている。三角プールでは、泳ぎの到着が一点に絞られ非常に苦慮している。循環ろ過器等22年に交換。水漏れは何か補修し現在はない。

**質問** 北小の体育館・プールの問題はないか。 **教育委員会事務局長** 体育館は十分な広さで、プールも南小のような話はない。



▲南小学校体育館

**質問** 北小と南小の差をなくすようお願いし、村長に伺う。小学校の耐震化工事に当初予算に比べ5,500万円ほど残る計算だが、体育館建設に充当できないか。また、体育館及びプールの整備計画をお聞きしたい。

**村長** 現在の児童数は500名を超え体育館の基準から行くと約半分強で、支障

を来たしている状況から、早急に検討し早くやっていきたい。小学校の耐震化予算残は結論から言って使えない。南小の体育館とプールを平行して、防衛省に計画承認の協議に早急に入りたい。中学校の改修が終わると同時に、南小関係もすぐできるような検討を今からやっていきたい。

### 地域防災計画及び避難場所等について

**質問** 第五次榛東村総合計画の中で防災計画の見直しとあるが、見直しの状況は。

**総務課長** 防災計画は総合的かつ計画的に防災行政の整備及び推進を図り、防災体制の万全を目的に、現在見直しを進めている。

**質問** 公共施設の耐震化推進とあるが、避難場所の耐震化進捗状況は。

**総務課長** 旧耐震基準の昭和56年以前の避難場所指定は九ヶ所。今のところ計画どおり進んでいる。

**質問** 最後に、避難場所に南小も指定され、災害時は体育館が一番使われている状況。災害に備え一刻も早く建設着手を願う。



▲南小学校三角プール

一般質問

**質問** 榛東村の目玉となるような農産物を作り若者が農業に参入できるような施策はあるか。

**村長** 所得が得られなければ



▲農畜産物展



▲遊休農地

**質問** 子ども手当から差し引く事は出来ないか。

**教育委員会事務局長** 子どもの教育にかかわる経済的負担の軽減という事でそれは出来ない。

**質問** いじめは絶対許さないという考えの下で、もしあるとしたらその対策は。

**教育長** 指導部会、教育相談部会というものを設け、スクールカウンセラーを入れてどう対応したら良いか相談している。

**質問** 村では基幹産業である農業に力を入れると言うことですが将来どのような農業を確立するつもりか。

**村長** 遊休農地を解消し村の特産品を開発する為、地質・気候等も調査しその販売にも力を入れる。また、下仁田ネギの産地化・ブランド化とし農地の有効活用を進めたい。

**質問** 下仁田ネギの集出荷場を機械化し作業の省力化をするか。

**質問** ば生活できないわけだからそういう事を含め検討したい。

農業振興どうする



金井 佐則 議員

Sukenori Kanai



▲下仁田ネギ 榛東ブランド

給食費未納どうする

**質問** 給食費未納の現状は。

**教育委員会事務局長** 平成21年度過年度分は130万3,950円で今年2月末84万3,750円となっている。今年度徴収いたしましたのが46万200円である。

**質問** 不納欠損額はあるか。

**教育委員会事務局長** 滞納整理には日々努力しているが今後、不納欠損処理をやらざるを得ないことも有るかもしれないと考えている。

自主財源確保は

**質問** 基金は減り村債が増えている財政の中、主財源確保企業誘致の考えはあるか。

**村長** 自主財源は50対50位だと思ふ、企業誘致はもろん必要だと思ふが、自主財源確保検討委員会（仮称）を立ち上げ、自分たちの中から提言されていく事をやっていきたい。

いじめ問題

**質問** 許されないいじめが小中三校であるか。

**教育長** 些細ないじめは小学校である。

**質問** いじめによる不登校が中学校であると聞いたが。

**教育長** 病気がけがの欠席以外で一年間に30日以上欠席すると不登校という事になるが、いじめによる欠席は無いと思ふ。





松岡 稔 議員

Minoru Matsuoka

### 企業誘致の推進を

**質問** 村にも企業誘致促進条例があるが、企業誘致のさらなる村の優遇策は。

**村長** 村においては、企業誘致条例がある。税制の中で優遇措置を行っている村がしなくても県が行っている。

**質問** 過去2・3年村に企業進出の話があつたか。

**村長** 2社ありました。県の東京事務所からと、県内の製造業がありました。2社ともまとまりませんでした。



▲学校給食風景

### 土曜スクールの現状は

**質問** 平成18年度に実施した土曜スクールの現状と成果そして、今後の取り組みは。

**教育長** 平成18年度から今年度まで4年間、土曜スクールを実施している。対象は小学校の5・6年生と、中学校では全学年を対象としている。今年度は年間14回の土曜スクールを実施した。4年間の平均参加率は一番高かつた時で小学校が28%、中学校で26%という状況であつた。土曜スクールの成果は、このことをやったことで、子供たちが自分で学ぶ力がついた

ことが、良かった点である。学校から報告を受けた。今後の取り組みとしては、22年度から名称を変えて、ぐんぐんスクールを実施する。

**質問** 土曜スクールとぐんぐんスクールの違いは。

**教育長** 土曜スクールは5・6年生、中学校では全学年であつたが、ぐんぐんスクールに変わることによつて、小学校は1年生から6年生まで、中学校も1年生から3年生まで、手を入れられるのが大きな違いであると思う。

### 米飯給食週3回以上に

**質問** 週3回の米飯給食を4回と農産物の地産地消について。

**教育長** 週5回の給食になつている、そのうちの3回が米飯給食で、あと1回がパン、あと1回が麺類である。バランスのとれた給食を提供している。

今年度2回ほど米粉パンを使つてみたが、このパン

は価格も高く、普通のパンよりも22円54銭の開きがある。給食費に負担をかけてしまう感じがする。できるだけ給食費に負担をかける方法で消費拡大で、お米のご飯を少し増やせるかは検討したい。

**教育委員会事務局長** 地場産の食材については今後拡大したいと考えている。

### 生徒たちの環境に対する関心の高さ

**質問** 中学校の新築校舎に太陽光発電システムの導入の考えは。

**教育委員会事務局長** 中学校の整備事業は、基本設計を行い、今年度の中で実施設計を行っている。CO<sub>2</sub>の削減は非常に重要だと考えている。中学生の時からこの問題に関心を持つてもらふことは重要だと思う。

今回実施設計の中に太陽

光発電システム導入を行う。常に生徒たちに見てもらうかが、大事だと考える。テラスにソーラーパネルを設置するのは、中学校の生徒が見える場所として考えた1kw規模のものを導入する予定である。今の段階ではCO<sub>2</sub>が何トン削減できるかわからない。わかつた時点で報告をしたい。



▲給食センター内食材調理風景

## 一般質問

**質問** 昨年9月に新庁舎が完成したことで、平成21年度末で基金残高と村債残高がどう変化し、今後どのように推移していくのか。

**基地・財政課長** 平成22年度末の全会計の村債残高は79億2,980万円（内訳は一般会計が29億8,726万円、特別会計が49億4,253万円）基金の合計は48億1,000万円、財政シミュレーションを※次の※①と②の方法で試算すると予算規模は平成26年度は約43億円、これから徐々に減少し、平成30年度は約37億円、起債償還額は平成23年度2億5,700万円、これが徐々に増大し、平成30年に

は、4億円に達すると見込んでいます。

※①税については生産年齢人口を割り、30年度まで推計

②さらに交付税については、マイナス1.9%減ずる

**質問** 財政健全化法で注目される実質公債費比率は本村はどのように推移するか。

**基地・財政課長** 実質公債費比率（収入に占める借金返済額の割合）は決算した時点で明確になるものなのでこれから何%増えるかを算出するのは難しい。榛東村は平成21年度決算で5.5%となり、群馬県でトップの健全財政ということだった。

**質問** 新庁舎の維持管理費はどのくらいか。

**総務課長** 平成20年度の旧庁舎の管理費が1,406万円、その中で電気代が一番高い比率である。平成20年度の電気代は397万円、平成21年度は2月分まで643万円だった。新庁舎の電気代は平成21年11月分が70万2,000円、12月分が83万3,000円、平成22年1月分が87万9,300円、2月分が99万3,000円である。（保健相談センター分を含む）

**質問** 村債残高が増えていく中で自主財源をどう確保するかについて。持続可能な地域づくりと仕事おこしを本腰を入れて取り組む必要があると思う。地域に密着した中小企業や事業所、又農家の所得を増やし福祉や環境分野を含めた新しい産業政策を考えるべきと思うが村長の考えは。

**村長** 県では企業立地促進法にもとづく基本計画を策定している。榛東村の利点（地震が少ない）をアピールして、頭脳を集積した産業区域を設定したらどうかと考えている。例えば健康



柳田 キミ子 議員

Kimiko Yanagita

## 榛東村の将来を支える財政計画か

## 住宅リフォーム助成制度の創設は

科学産業とか基盤技術産業等。企業立地等においては事業の高度化を行う事業者には、県の承認が得られれば優遇措置が多く受けられることになっている。そういう制度を利用して本村はやる必要を感じている。

**質問** 住宅のリフォームをした人に費用の何パーセントの割合で自治体が補助をする制度である。村内の建設業者だけでなく、電気工事、家具とか幅広い業種に

波及効果がある住宅リフォーム助成制度を創設できないか。

**村長** 現在できる範囲内で行っている。



▲榛東村役場